社会資本総合整備計画　　事後評価書

計画の名称	福島市の雨水対策事業（防災・安全）		
計画の期間	平成３１年度　～　令和０３年度　(3年間)	重点配分対象の該当	○
交付対象	福島市		
計画の目標	下水道施設の整備により浸水被害の軽減や水質の改善を行い、災害に強く安全安心な暮らしの実現と美しい水環境の更なる向上を図る。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	1,310	A	1,300	B	0	C	10	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0.76	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H29末）	（H32末）	（H33末）
1	・浸水被害を軽減するため、H33末までに雨水渠を 108m 整備する。			
	計画期間における雨水渠の整備実施総延長（m）	0m	75m	108m
2	・水質改善（汚濁負荷量の削減、きょう雑物対策等）のため、H33末までに終末処理場及びポンプ場の施設 47箇所 を改築する。			
	水質改善のために終末処理場やポンプ場の改築を実施した施設数（箇所）	0箇所	22箇所	47箇所

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

案件番号：　0000447964

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H31	R02	R03	R04	R05	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	福島市	直接	福島市	管渠（雨水）	新設	信夫山排水区浸水対策	雨水渠整備　L=108m	福島市	■	■	■			289		―
	A07-002	下水道	一般	福島市	直接	福島市	管渠（雨水）	改築	阿武隈川左岸第七排水区浸水対策	樋管改修	福島市	■	■	■			24		―
	A07-003	下水道	一般	福島市	間接	個人	管渠（雨水）	新設	福島市水環境創造事業（新世代）	浄化槽転用、雨水貯水タンク等	福島市			■			0		―
	A07-004	下水道	一般	福島市	直接	福島市	管渠（雨水）	新設	福島市雨水計画策定	浸水シミュレーション、内水想定図作成	福島市	■	■	■			40		―
	A07-005	下水道	一般	福島市	直接	福島市	ポンプ場	改築	第1ポンプ場地震対策事業（水質改善）	耐震化	福島市	■	■	■			41		―
	A07-006	下水道	一般	福島市	直接	福島市	管渠（雨水）	改築	雨水耐水池地震対策（水質改善）	耐震化	福島市	■	■				268		―

案件番号：　0000447964

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H31	R02	R03	R04	R05	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	福島市	直接	福島市	ポンプ場	改築	第1ポンプ場改築（水質改築）	施設改築	福島市			■			0		－
	A07-008	下水道	一般	福島市	直接	福島市	管渠（雨水）	改築	雨水滞水池改築（水質改善）	施設改築	福島市	■	■	■			52		－
	A07-009	下水道	一般	福島市	直接	福島市	管渠（汚水）	新設	連絡管渠整備（水質改善）	管渠　L=241m	福島市			■			0		－
	A07-010	下水道	一般	福島市	直接	福島市	ポンプ場	改築	福島市下水道施設耐水化事業	下水道施設耐水化計画策定	福島市			■			21		－
	A07-011	下水道	一般	福島市	直接	福島市	ポンプ場	改築	第一ポンプ場改築（浸水対策）	施設改築	福島市			■			565		－
											小計						1,300		
											合計						1,300		

案件番号：　0000447964

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H31	R02	R03	R04	R05	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	福島市	直接	福島市	管渠（雨水）	新設	福島市雨水計画策定	内水ハザードマップ作成	福島市		■				10		－
		基幹事業である（2-A-4）浸水想定に加え、浸水被害時に必要な情報や、避難行動をわかりやすく市民に広報し、防災意識の向上を図る。																	
											小計						10		
											合計						10		

案件番号： 0000447964

事　後　評　価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 令和4年度福島市社会資本整備総合交付金（下水道事業）事後評価委員会により実施	事後評価の実施時期 令和４年１２月～令和５年３月 公表の方法 市ホームページに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	浸水対策について ・雨水渠96.4m整備したことにより10年に1回発生する規模の降雨に対して、被害が軽減される区域について増加した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	浸水対策（ソフト対策）について ・内水ハザードマップを作成し全戸配布及び市ホームページにて公開したことで、市民に対して内水による浸水被害が起きやすい場所を示すことができた。
○特記事項（今後の方針等）	
・災害に強く安全・安心な市民生活の確保、水環境の向上を図る。 ・雨水渠整備の必要性について検討する。 ・下水道施設の耐水化、耐震化について方針を定めたため対策工事を行う。	

案件番号： 0000447964

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最　終 目標値	108m	浸水対策について：R4年度以降の路線の工法見直しを行うため、予定より手前で工事を中断したため。
	最　終 実績値	96m	
2			
	最　終 目標値	47箇所	水質改善について：事業を進めるにあたって、関係各所の同意が必要であるが、R3年度末時点では了承が得られず、事業が開始されなかったため、改築施設数は0箇所となった。なお、R4年4月に協議が整ったため、現在、工事に着手している。
	最　終 実績値	0箇所	

案件番号：0000447964